

# ドメヌ・ド・ラ・ロマネコンティ Domaine・De・La・Romanee—Conti (Vosne—Romanee)

ロマネ コンティ畑の歴史はローマ時代まで遡り、ローマ人が統治とブドウ栽培への感謝からこの村の極上の畑に「ロマネ」という名を送りました。ローマ時代から2000年に渡りこの畑ではブドウ栽培が行われています。10世紀初頭以来、サン ヴィヴァン修道院が所有し、18世紀初頭にはルイ14世が持病の治療薬として毎日スプーン数杯のロマネ コンティを飲んでいました。1760年コンティ公爵がこの畑を所有し、すべて自家用に切り替え、コンティ公宮殿で多くの芸術家たちに振舞われました。フランス革命により畑が没収されますが、ロマネ コンティという名前だけは残りました。



## ロマネ・コンティ Romanee Conti

ワインの平均年産は約6,000本程度(順調な年で7,000本程度、不調な年で4,000本程度)と極めて稀少性が高く、世界で最も高値で取引されるワインのひとつである、またその価格と稀少性の高さから、「飲むより語られる事の方が多いワイン」と言われる事もしばしば。現在、どんなに安くても30万円は下らず、良作年の物は1本、100万円を超える事もある。

## ラ ターシュ La Tache

ロマネコンティとならび賞されるブルゴーニュ最高のモノポール。元々のラ・ターシュは約1.43ha程でロマネコンティより小さな畑であったが、所有者のドメヌ・ド・ラ・ロマネコンティの申立てで、1932年に直ぐ上に隣接するゴードイシヨの約4.62haの畑を併合し今の形なる。畑の形が縦長で高低差も50m近くある比較的広い畑である事が幸いしてか、毎年品質的には安定感があり時にはロマネコンティを上回ると評される。

## リシュブール Richebourg

3.51haのPN種のブドウ畑で、年間1000ケースのワインが製造される。当たり年はラ・ターシュと同じくらい美味しいとされる。

## ロマネ サン ヴィヴァン Romanee Saint Vivant

5.28haのPN種のブドウ畑で、年間1500ケースのワインが製造される。当たり年にはラ・ターシュと同じくらい美味しいとされる。

## グラン エシェゾー Grands Echezeaux

3.52haのPN種のブドウ畑で、年間1150ケースのワインが製造される。

## エシェゾー Echezeaux

4.67haのPN種のブドウ畑で、年間1340ケースのワインが製造される。

## モンラッシェ Montrachet

世界最高峰の白ワインと名高いモンラッシェ、生産量が少ないロマネ・コンティよりもさらに少量生産で、とても希少なワイン。

**sold out**